



インスピレーションになる

《第2530地区活動目標》

1. 会員風俗の維持と強化
2. POLの推進への取り組みと支援
3. TAKE ACTION
みんなで行動を起こしましょう
4. RI戦略計画と中核的価値観の理解と実践
5. 公共イメージの向上
6. 全クラブでロータリー賞に挑戦しよう
7. 研修制度の充実
8. ロータリー財団への理解と活用
9. 米山記念奨学会への協力

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 平井義郎
 ガバナー補佐 渡邊武
 会長 吾妻一夫
 幹事 村上裕司

4月のお酒の健康週間

2018~2019年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
 RI会長 バリー・ラシン 事務局/〒960-0282 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 Fax(024)542-3604
 イーストナッソー・ロータリークラブ(バハマ)

通算

第35回 [2956] 例会報告 平成31年(2019)4月4日(木)

出席委員会報告

会員総数	39名
出席会員	27名
欠席会員	12名
出席率	69.23%

言行はこれに照らしてから

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか

- ◆開会点鐘 吾妻一夫 会長
- ◆国歌斉唱 ◆ロータリーソング [奉仕の理想] 紺野容樹 会員
- ◆四つのテストの唱和 斎藤孝裕 職業奉仕委員長

◆お客様紹介

- 二本松ロータリークラブ 会長 三津間誠吉 様【職業分類：医療品製造・配布】
- 2018(平成30年)学年ロータリー米山記念奨学生 レー クエン ダット さん

.....lunch time.....

◆会長あいさつ



4月だというのにこういう寒さが来て、桜前線も北上していたのがちょっと停滞しているような天候です。我々農家にとっては進んでいるのか分からないような年です。この前、喜市郎さんから『三月雷様に鎌いらず』ということわざをお聞きしましたが、あまり作柄としては良くない年だということわざだそうです。いつも、喜市郎さんには大変参考になることわざを教えてくださいまして。当初は桃で例年より1週間進んでいるという果樹試験場の見込みでしたが、今では去年よりも2日くらい、段々と遅れてきております。我が家ではまだ枝切りが終わらなくて、昨日も雪の中、頑張っておりました。やがてこれから春を迎え、鶯の鳴き声を聴きながら青い空を見つめて、その時期が私にとっては一番楽しい時期です。希望に花丸を付けて頑張りたいと思います。

【三津間誠吉 二本松ロータリークラブ会長よりご挨拶】

3月9日に第一分区、第二分区合同の新会員オリエンテーションを飯坂さんがホスト、二本松がコ・ホストで合同での例会を挙げていただきました。吾妻会長、村上幹事はじめ皆様方には大変お世話になりました。福島クラブが先週68周年の創業記念日を挙行されましたが、61年の伝統ある飯坂クラブさんは、まさに福島クラブの長男です。その次にできたのが、私どもの二本松クラブで57年が経ちました。今回のオリエンテーションでは、皆様方へ大変なご苦労をお掛けしたこと、非常にありがたく、感謝の念でいっぱいでございます。本日は改めて御礼に参上させていただきました。本当にありがとうございました。



バナーの交換



【奨学金の贈呈 レー クエン ダットさん】

私は今年4年生になり、今は就職活動を行っています。就職活動が想像以上に忙しくお金も結構使っています。今はセミナーや説明会、面接が多くて、交通費や書籍代もかかっています。この奨学金をもらって本当に助かっています。これからも目標に向かって就職活動を頑張ります。ありがとうございました。

◆幹事報告 村上裕司 幹事

A. 月信 「ガバナー月信」 No.10 4月号

B. 来信

①ガバナー 平井義郎 氏より 「ロータリーリーダーシップ研究会開催の案内」 と き、4月27日(土) ところ、福島市市民会館

◆スマイリングBOX 二瓶 貢 委員長 【合計3-23】

二本松ロータリークラブ	三津間誠吉 様	3,000円	新会員オリエンテーションでは大変お世話になりました。御礼に参上致しました。
吾妻 一夫 会員	H		二本松ロータリークラブ三津間会長をお迎えて、鈴木牧子会員スピーチ宜しくお願ひ致します。
鈴木 牧子 会員	H		本日はお話しをする機会をいただきありがとうございます。
安斎 忠作 会員	S		鈴木牧子様のスピーチ楽しみにしています。 前会欠席おわび
佐藤 真也 会員	S		鈴木牧子会員の新会員スピーチ楽しみにしています。
			純米吟醸播上川の火入れ酒が発売となりました。皆様、宜しくお願ひいたします。
中野 哲郎 会員	T		鈴木さんのスピーチを楽しみにしています。
嶋 隆章 会員	T		欠席おわび

100円献金 14,230円 ご協力ありがとうございました。

御寄付 篠木勝司 会員 50,000円
 「記念誌作成にあたり過分なる御厚情をいただきまして」

二十日の「飯坂電車て花見酒」
宜しくお願ひします

◆ 新会員スピーチ

鈴木牧子 会員



この度、新会員として入会させていただきました湯野の鈴木工務店専務取締役の鈴木牧子と申します。宜しくお願いいたします。弊社の創業ですが、昭和45年に有限会社となりました。私は昭和52年、大学を卒業した年にこの建築業の家に嫁ぎました。当時、私は女子の四大卒ということで、私に対する偏見のようなものを感じました。そのギャップをどうやって埋めたいのか考えながら、工夫してやってきた気がします。その後、子供たちも生まれ、下の子が小学校3年生になった時に、義理の父から「**自分の身に付けたものを社会に返すのが人間の役割だ**」と言われ、近所からの要望もあり小さな英語教室を開きました。そんな中で、平成15年に私自身が卵巣がんに罹患しました。卵巣がんは奥の部分にあって見つけにくいがんなのです。検診も毎年受けていたのですが見つからず、ある日突然症状が現れて、平成15年8月に卵巣がん確定診断を受け、しかもⅢ期Cという進行がんでした。手術をし、抗がん剤治療を2年間行いました。がんの5年生存率というのがありますが、私は5年後生存率が50%もありませんでした。この5年は自分にとって何の目標なのだろう。5年後に自分が生きているのは0%か100%のどちらかしか考えて、自分でその病気を受け止めながら、今後の生き方を考えていかなかったら、いつも呪縛されて、それを頭に置いて生きていかなければならないのだなどどこかで気づきました。そのきっかけは同じ体験をした人たちに全国で会う事でした。2010年にこちらにゲストスピーチでお邪魔しました。「**リレー・フォー・ライフ**」というアメリカからきたチャリティーイベントを福島でも行うので、その広報としてお招きいただきました。おかげさまで、リレー・フォー・ライフは第10回の大会を迎えます。集まったお金は実行経費を除いて全て対がん協会に送られます。そのお金は患者支援や研究の費用となります。福島の事を申しますと、大変ご協力下さる方が多く500万円以上のご寄付を集め、ほぼ7割の額を対がん協会に寄付させていただいております。最近の研究では、ジェネリックの薬の効果を逆の視点から見て、有効に使っていかうという研究が進んでいます。私たちもそれを勉強する機会をいただいております。

お手元の記事ですが、4月1日の読売新聞に載せていただきました。書いた記者さんは前に厚労省にいた読売新聞の方で、がんの事を日本で一番多く書いている記者さんではないかと思っております。ご縁があって、去年は事務所にも来ていただいて、このような素晴らしい記事を書いていただきました。私はひいらぎの会の代表をしており、県内でがんピアサロンを開いています。一人暮らしの男性は病気と共にどうしても引きこもりになってしまいますが、どうしたら出て来られるか、何が好きですかとお聞きしたら、若い頃に麻雀をやっていてそれが楽しかったとおっしゃりました。この麻雀サロンはいつかやりたいなと私は思っていました。咽頭を摘出されて声が出ない方も麻雀のポンとかロンとかは発音できますので、一緒に笑ってできるなと思いました。ただ、抗がん剤は末端神経に副作用が残る場合が多いのです。手先がしびれているとパイが積めません。ですから、奮発して全自動の台を用意し、うちのアパートの1室に麻雀室を作ったら、夫が部屋をリフォームしてくれて、今は楽しくやっております。

私は最初に福島県のがん対策推進委員もしておりましたので、震災後は私の所に福島県内のみならず、近隣の県からも、がん患者さんのご相談の電話が殺到しました。「ピアサポート」という活動が国でも始まったところだったので、県の推進協議会でもがん患者さんが困らない何か対策を考えようと、私はサポートサロンの構築作業をぜひやらせていただきたいので予算を取って下さいとお願いしました。ピアサポートの活動の源ですが、今はがんのサバイバーシップと言って、がんになっても、治療法が無いと言っても生きるのです。その生きる力を私たちは分かち合い、共感していきたいと思っています。余命がわずかだから下を向いて生きるのか、ピアサロンに来た方が自分の人生は分からないけど、私もサポーターになりたい、次に来た人の力になりたいと言われた時は大歓迎です。そういう方々に養成講座を受けていただき、サロンのオン・ザ・ジョブ・トレーニングで実践していただいております。また、たくさん学会にも私たちも参加できます。助成もあります。その時の旅費の支援も私たちのNPOが支援しています。私自身も薬剤師の方々の所にお呼びいただいて、自分たちの活動をお呼びかけしております。その講師代もNPOに入れさせていただいております。また、ご寄付などをいただきまして年間600万円くらいのお金でNPOを運営しております。最後に収支を合わせると全く残金が無く、最後はうちの会社からの寄付として合わせました。今年は大口のご寄付をいただいたので残金が出そうです。

いつも思うのですが、独りよがりにならないで、これを誰かが受け継いで、こういう経緯でやっていたのだと分かってもらえるようにやっていきたいと思っております。まさに、ロータリーで最初に読み上げる言葉「いつも公平であるか」、これは私の気持ちの神髄だと思います。私のビジョンは「**あなたの笑顔が見たいから**」という事です。がん患者やご家族だけではなく、医療者の方の笑顔も見たいのです。そういった方々とも多く繋がりを持って、私のビジョンに共感してくれた方々がそれぞれのミッションを果たしてくれています。私の活動はがんに特化しており、自分の体験を生かした活動ですが、私はがんになってから孫が生まれました。その孫が突然4歳の時に交通事故で亡くなってしまいました。私は「私の心臓を取り出して移植できるなら孫に移植して下さい」と泣き叫びました。そうしたら先生が「今の医学をもってはできません。僕も残念です」とおっしゃいました。その先生の姿を見た時に**医療にも限りがある、人の命にも限りがある**という事をがんをしてもまだ知らされました。がんは身近な病気の治療法もありますし、私たちのようながん経験者を「サバイバー」と言いますが、がんになってもこういう活動をしている人たちがたくさんおりますので、何かの機会に皆さんの周りでも困っている方がいらしたら、ホームページで「**ガンピアネットふくしま**」と挙がってくると思っています。活動やサロンの事、Facebookでも会の事はお知らせしておりますので、ぜひご覧になっていただきたいと思っております。

今日は貴重なお時間をいただきましてありがとうございました。

◆ 閉 会 点 鐘 会長